

## ランチタイム・コンサート ～All Chopin Program～

5月31日(月) 開場 11:30 開演 12:00 入場料 ¥500

出演：根津 理恵子 / Rieko Nezu

“ワルシャワ時代の隠れた名作をはじめ、若き日と晩年の様々な輝きをお楽しみください。”

### ■プログラム/ショパン

ドイツ民謡「スイス少年」による変奏曲 ホ長調 遺作  
ポロネーズ 変ト長調 遺作  
序奏とロンド 変ホ長調 op.16  
4つのマズルカ op.41 ホ短調・ロ長調・変イ長調・嬰ハ短調  
スケルツォ 第4番 ホ長調 op.54

※曲目に変更がある場合がございます。



©Kei Uesugi

### ■プロフィール/ねづ りえこ

東京藝術大学卒業後、渡欧。ポーランド政府給費留学生としてピトゴシチ音楽アカデミー研究科修了。  
1996年スウェーデン・キル国際ピアノ・コンクール優勝。  
2004年第6回パデレフスキ国際ピアノ・コンクール第4位、併せてパデレフスキ作品最優秀演奏賞受賞。  
2005年第15回ショパン国際ピアノ・コンクールにおいてファイナリスト名誉表彰を受ける。  
国内外でのコンクールの他、「PTNA リサイタルシリーズ・十代の演奏家」(2000年)など若くしてコンサート活動も開始。  
2007年「カワイ80周年記念コンサート」(監修・上田弘子)では高橋多佳子、江尻南美、島田彩乃と共にソリストに抜擢され国内三都市で公演。「シャネル・ピグマリオンデイズ・アーティスト」(08年)、「第244回日本ショパン協会例会」(09年)等々にも出演。  
海外ではヨーロッパ各地の「ショパン・フェスティバル」や音楽祭に招かれ、「聴衆を圧倒的な熱狂へと導く才能」と高評を得る。また伝統ある「第24回ヴァルデモサ・ショパン・フェスティバル(マヨルカ島)」(07年)、「ショパン生誕200周年記念/日本&ポーランド国交樹立90周年記念祭(於・国際連合欧州本部/ジュネーブ)」(09年)では日本人ピアニスト初の招聘アーティストとしてソロ・リサイタルを行う。  
現在ポーランドを拠点にソロ、室内楽の他、フランス・アヴィニヨン管弦楽団、ワルシャワ国立フィル、ポーランド各地方管弦楽団、芸大フィルハーモニア等々、オーケストラ協演も多く、幅広く活動を展開している。  
CDは「ショパン・コンクール・ライヴ2005」(株・ビクターエンタテインメント)、「Rieko Nezu plays Paderewski & Chopin」(CD-ACCORD)など。  
2010年にはデビュー10周年を迎え、2002年より開始され多くの話題を呼んだリサイタルシリーズ「ショパンをめぐる作曲家たち」も節目の年に好評裏で最終回となる。様々な企画や真摯な音楽にファンも多く、今後の活躍に期待も大きい。  
これまでに金子勝子、御木本澄子、杉谷昭子、播本枝未子、迫昭嘉、ダン・タイ・ソン、故ハリーナ・チェルニー＝ステファンスカ、エヴァ・ポブウォツカの各氏に師事。マルタ・アルゲリッチ、レギナ・スメンジャンカ、ドミニク・メルレ各氏の指導も受ける。